

令和7年度 釧路教育研究センター 運営審議会

日 時：令和7年7月16日（水）16：00～17：00

場 所：教育委員会 2階 教育委員会室

出席者：別添 運営審議会座席表のとおり

関係資料：資料 令和7年度事業計画（令和6年度事業報告を含む）

1 開会

2 教育指導参事挨拶

3 議事

（1）令和6年度事業報告

○事務局より、資料を使用し説明。

（2）令和7年度事業報告

○事務局より、資料を使用し説明。

（3）その他

【以下、質疑応答】

【令和6年度事業報告】

◆事務局

- ・研究紀要については、先生方が手に取りやすく、情報にアクセスしやすい、リーフレットやパンフレットとして発行した。
- ・教育講演会については、参加者からの好評を得ることができた。

◇委員

- ・教育講演会に子供たちも多数参加しており、教室での話題共有も図れ、素晴らしかった。

◆事務局

- ・鶴岡氏にすべての質問を受け止めていただき、わかりやすく教育にも通ずる部分のある講演であった。

【令和7年度事業計画】

◆事務局

- ・今年度も、これからのニーズに対応した調査・研究を3つの研究グループ委員会体制で推進していく。
- ・今年度から教育相談や、カウンセリングの視点から、子ども支援研究グループに養護教諭がメンバーとして参加している。
- ・教育講演会については、教職員だけでなく子供と保護者にも有益な内容を提供できる講師を選定したい。

◇委 員

- ・戦後８０年の取組として、授業の中で釧路空襲に触れた。実際に体験した人が減っている中、郷土読本でもぜひ触れてほしい。

◆事務局

- ・戦後８０年の取組としては、教育委員会だけでなく、市全体として関連事業を推進している。各学校で、各種事業を活用しながら大人が子供たちに戦争の事実を伝えていただきたい。

◇委 員

- ・学力向上だけでなく「不登校」や「ふるさとキャリア」に関する研修講座を入れていただけて、ありがたい。子供たちの悩みが多岐にわたっている中、より多くのニーズに応じた講座を増やしてほしい。

◆事務局

- ・社会に出て生きていくために、必要な視点である。受講者のニーズに合わせた講座の内容を検討していきたい。

◇委 員

- ・「学びの多様化学校」については北中の分校となる。北中だけでなく、多くの市民に周知してほしい。

◆事務局

- ・「学びの多様化学校」の市民への周知はもとより、北中学校の教員が把握できるように準備をしていきたい。

◇委 員

- ・教育課程の実施については９割程度か。

◆事務局

- ・年間時数を８５０時間に下げようかと考えている。不登校の子供たちだからこそ、やりがいの生まれるような教育課程を編成していく。

４ 閉会